

毎月第3日曜日発行

発行所 (有)イワサキ

ASA座間 TEL046-251-1878

あさのポケット編集室
〒228-0813 相模原市松が枝町7-4
TEL/FAX 042-702-0668
E-mail: asapoke-y@xsj.biglobe.ne.jp

1月号 2010年(平成22年)
1月17日(日) No.66



あさポケブログ更新中! <http://www.asapoke.net>

第45回 わたしの自慢



入谷在住
大山 寛さん
養護学校
臨時職員

今回は県立座間養護学校臨時職員の大山寛さんを取材しました。大山さんは横須賀生まれ、座間育ち。趣味は5歳から始めたエレクトーンや柔道、スキーなど多彩です。スキーはプロ級の腕前で、学生時代からインストラクターを務めるほどです。柔道は入谷の吉原道場に週2回通っています。養護学校では、知的障害者の高校課程を担当しています。勤めて4年目。同職に就いたキッカケは柔道。大学4年生の時、吉原道場で養護学校の先生との出会いでした。大学は法学部で、教職免許を持つことから同校を紹介されたそうです。「初めて教室の扉を開けたときは、正直不安になりました。まったく未知の世界なの

で、生徒と上手くやっていけるか心配でした」。勤めて3年間、感動したり、落ち込んだり、反省したりは連続だったといいます。今では「生徒の気持ちに寄り添い、分かってもらえるように努めています」と自信もできてきたそうです。この仕事の楽しさは「生徒の成長です」と目を輝かせます。「正規の教諭になる」ことを目標に頑張ることです。周りを盛り上げ、楽しませるのが大好きで、忘・新年会の幹事も務めます。取材の際も笑顔で明るかった大山さんは、学校でもムードメーカーのようです。副校長の高橋先生は「若さと元気があり、学校側も色々とお助かっています」と話していました。推薦者＝本紙記者・山谷

新成人1312人誕生

座間市の成人式が1月11日、ハイモニーホール座間で開かれました。今年の新成人は1312人(平成元年4月2日〜2年4月1日生まれ)で昨年より36人減少。ホール前に集まった色とりどりの振り袖姿の女性は、大輪の花のような美しさでした。久しぶりに会う級友同士、元気に声を掛け合う男性たちや、友人との再会に抱



き合う女性などとても賑やかでした。成人になった感想を尋ねると、



「すごく嬉しい!」「わくわくしています」「みんなに会えて嬉しい」などと、にこやかな表情の女性たち。男性は「恥じない20歳になりたい」「社会人の第一歩として気合いが入ります」と真面目な内容。新成人のお子さんを持つお母さんたちは、「すごく感動しています」「大人としての成長が楽しみ」など、とても嬉しそうに表情で話していました。成人の仲間入りをした1312人に大きな拍手を贈りましょう。おめでとうごさいます。



座間小5年生 中村 優斗

子ども記者31

『ぼくと米作り』 中村 優斗 ぼくは、5年生が米作りができてとてもうれしかったです。ぼくたちは5年生は、いろんな先生がたのびあえてもらいながら少しずつ米作りをしてみました。まず田植えから始めました。みんな体も服がドロドロになりました。田植えをかんばりました。ぼくは、「これが最初、これからいよいよ育っていくんだ」と思いました。約3カ月後、あの小さな稲はすっかり大きくなり大きなもみもついていました。稲刈りが始まった時、たぶんかんたんかと思っていただけ、一気にいっぺいは切ることができませんでした。意外にむずかしかったです。11月、わが家のもちもち米、お米が「フカツ」といって、なかなか上手にできませんでした。もちつき大会でついたもちちは、ふつうのもちよりやわらかくておいしかったです。でも、もちつき大会より米を作る方が楽しかったです。



座間小5年生 角田 陽向子

『お米にふれて』 角田 陽向子 私は、お米作りにふれて、稲の一生やお米の種類、品種改良などについて学びました。いざ体験したら思っていたよりむずかしかったです。体験すると、作っている人の気持ちが分かるような気がしました。それに育っているうちに興味も持てました。私の中で楽しかった事は、やはり稲刈りです。春に田植えをし、秋に実ったお米をみんなが収穫するのは、すごくうれしかったです。脱穀した後、お正月のかがしを作りました。お米がおいしかったです。でも自分で作ったお米は、少し格好悪かったです。達成感がありました。よかったです。お米にふれたい、みんながいっぺい笑ってほしい、お米が、みんなが食ったお米は、おいしかったです。

みんなで楽しく演奏&ダンスしよう! 座間市少女マーチングバンドメンバー募集



同団体創立者兼指導者の上之正治さん

小学校1年生から中学3年生までの女子たちが、市内や近隣市から集まる『座間市少女マーチングバンド』。座間市内のイベント演奏をはじめ、県内や関東大会、全国大会(9回)に出場し、迫力と実力を備えた演奏と華やかなカラーガード隊に定評のある団体。日頃の活動が評価され、東京デイズニードに9回出演するなど全国的にも活動しています。ハイモニーホール座間で開かれる『定期演奏会』は、毎年来場者で満席になります。皆さんも一度は同バンドの演奏を、お聴きになったことがあるのではないのでしょうか。同団体は、1986年4月に発足。目的は青少年健全育成と楽しく楽器を奏でみんなに演奏する楽しさを体験すること。同団体創立者兼指導者である上之正治さんを中心に隊員を指導します。上之さんは『横浜消防音楽隊』に38年勤務し、年間200回以上の演奏を経験。50年以上のキャリアを持つベテランです。「上手くなるというより、楽器演奏の魅力や楽しさを感じてほしいですね」と話します。一度入隊した子供たちは、今まで一人も辞めたことがないそうです。そして「目的と目標は違います。目標は全国大会優勝です」と力強く話しました。練習時は迫力ある演奏が、体育館全体に響き渡りました。同団体リーダーの植木悠里恵さん(中学3年)は「友達に誘われて入りました。すごく楽しいです!特に仲間と助け合って演奏することが」と元気がいっぱい。入隊1年という小学校1年生の高澤聖さんは「みんなで演奏できることが楽しい」とニコリ。入隊しているお

子さんを持つ北川さんは「小学校1年から中学1年生の今まで演奏しています。生活のリズムの1環です。子供も私も楽しい思い出が沢山できました」。入隊1年目の高井さんは「親の私が喜んでいませ。素敵なお姉さんに囲まれて、うちの娘も...と今から楽しみです」と笑顔で話しました。同団体の長所は、楽器演奏の上達だけでなく、他地域や年齢の違いなど、普段あまり関われない人たちと仲良くなれ、みんなで手を取り合い仲間を大切にする気持ちも育まれる環境があることです。現在メンバー募集中、見学・体験大歓迎。「お気軽にお越し下さい。ダイナミックなマーチングやカラーガードと一緒に始めませんか。楽器に触れたことがなくても入団可能です。ダンスが好きな女子も歓迎!」。見学・体験希望の方、詳細については、上田平さん、北川さんまでお電話を(左記)。 ■練習場所 座間市内小学校体育館及び近隣のスポーツ施設 ■日時 原則毎週日曜日、9時〜17時 ■対象者 小学校1年〜中学3年までの女子 ■会費 月/5千円 ■連絡先/広報・上田平さん ☎046(235)4054、北川さん ☎090(1555)8979

★★あさポケ座間版では、「自慢シリーズ」、「子ども記者」に登場して頂ける方を募集しています。自薦他薦問いません。ASA座間スタッフまたは ☎042(702)0668。★★